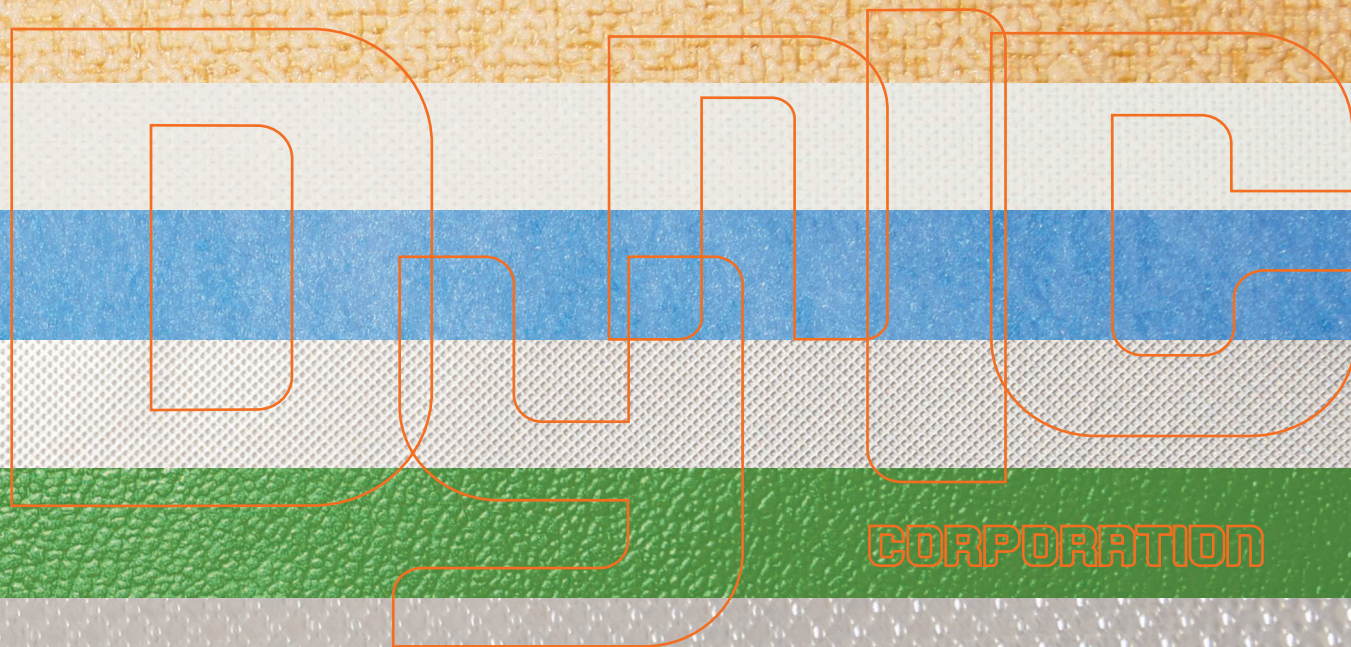


(証券コード 3551)



第 158 期中間報告書

2020 年 4 月 1 日～2020 年 9 月 30 日



ダイニチ 株式会社



株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社グループ第158期中間期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

第158期前半期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により主力の印刷情報関連事業、住生活環境関連事業の売上高および営業利益が前年同四半期を下回り、滋賀工場の壁紙製造ラインで発生した火災事故による損失も含めて、連結ベースで別記のような結果となりました。

後半期の当社グループを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が予想されますが、コロナ禍後の事業のあり方を見据えていくとともに、国内・海外の当社グループのネットワークを活用して、市場のニーズに応えた製品を開発することに全力をあげて取り組み、経営体質の強化に努めてまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長

大石義夫

会社概要（2020年9月30日現在）

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
本社	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26 TEL 075-313-2111 FAX 075-313-2116
東京本社	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19(新御成門ビル) TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
発行済株式総数	8,504千株
社員数	グループ合計1,311名
営業所/事業所	札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、 (グループ含む) 香港、シンガポール、米国、 タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ
工場	滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、 (グループ含む) シンガポール、韓国、タイ、韓国、インドネシア、チェコ
関連会社	国内7社、海外12社
主要商品	●文具紙工品用クロス ●壁装材 ●出版用クロス ●カーペット ●プリンターリボン ●自動車内装用資材 ●銀行通帳用クロス ●各種フィルター ●フィルムコーティング製品 ●不織布 ●磁気関連製品 ●産業用ターポリン ●表示ラベル用素材 ●接着芯地 ●名刺プリンタ ●各種ファンシー商品 ●乾燥し吸水分離シート ●食品包装材料 ●バッグ用フィルム加工 ●紙管紙器

役員（2020年9月30日現在）

取締役会長	細田大	田石野	敏夫	夫
代表取締役社長	大河市	石野川	義秀	昭
取締役	遠山	藤田	秀仁	司
取締役	北村	澤田	英伸	浩
取締役	小佐々	木家	圭一	正
取締役	新辻	川崎	正	雅
取締役	川本	山森	信和	隆
取締役	川邊	雅也	之彦	次
常勤監査役	長谷川	啓一	也	茂
常勤監査役				一

注 取締役辻正次、川崎茂の両氏は社外取締役、また監査役川辺雅也、長谷川啓一の両氏は社外監査役であります。

営業の概況（連結）

経営の実績 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業活動や個人消費が制限され、企業業績は大きく悪化しました。感染拡大が収束する日途が立たず、先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、お取引先をはじめとして関係者の皆様と従業員の安全を最優先に考えた感染防止の対策をとり事業活動を進めてまいりました。その中で、7月29日に当社滋賀工場の壁紙製造ラインにおいて火災事故が発生し、お取引先および関係者の皆様に多大なご迷惑をお掛けしましたことを改めてお詫び申し上げます。コロナ禍によるイベントの中止や各方面での生産休止等の影響は大きく、更に滋賀工場の火災による損失もあり大幅な減収減益となりました。

その結果、売上高は17,520百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。利益面につきましては、営業利益が246百万円（前年同四半期比44.9%減）、経常利益が306百万円（前年同四半期比41.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は87百万円（前年同四半期比62.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

■印刷情報関連事業

印刷被写体においては、出版・文具用途では紙クロス、ビニールクロスで学校の休校による文具の販売減、旅行・婚礼の他、各種イベント中止の影響でアルバム・パッケージ用途での落ち込みにより大幅減収となりました。また、産業用の品質表示用ラベルはアパレル用途、車輛用途が国内・海外ともに低調であり、前年同四半期比減となりました。

印字媒体においては、ラベル等の印字用熱転写リボンは、海外でのアパレル用途の市況悪化が大きく影響して、前年同四半期比減となりました。

一方で、有機EL用水分除去シートは、医療機器用途や通信機器用途がコロナ禍で需要が伸び、前年同四半期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は7,456百万円（前年同四半期比15.1%減）、営業利益は減収の影響が大きく、322百万円（前年同四半期比35.2%減）となりました。

■住生活環境関連事業

当セグメントはコロナ禍による影響が特に大きく、大幅な減収減益により営業利益で前年同四半期を大きく下回りました。

不織布は、展示会等のイベント中止によりインテリアの受注がほとんど無く、また車輛関連の内装材やフィルター類においても、期前半の自動車各社の減産に伴い、前年同四半期比で大幅な減収となりました。但し、夏場以降は自動車各社とも回復基調にあり、徐々に受注が戻ってきております。また、家電用フィルターはコロナ禍の影響で空気清浄機用途をはじめ販売は堅調に推移しております。

産業用ターポリンにおいても、テント材等でイベント中止の影響が大きく、その他工事の減少に伴う樹脂運搬需要の低下でコンテナ販売も低調で前年同四半期比減となりました。

壁装材は、滋賀工場の火災事故により8、9月は大幅売上減となりましたが、前年同四半期比では若干の増収となりました。

衣料用芯地は、イベント中止や在宅勤務の増加によるスーツ需要の低下と婦人衣料の販売減少が影響して、前年同四半期比減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は5,535百万円（前年同四半期比19.9%減）、営業利益は38百万円（前年同四半期比77.4%減）となりました。

■包材関連事業

食品包材・蓋材は、コロナ禍での外出自粛に伴い、家で消費する食品の販売が増加したこと等から売上は堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。また、原価低減への取り組み効果もあり、利益面でも改善が図られました。

食品鮮度保持剤においても、コロナ禍で長期保存出来る食品向けの需要が伸び、前年同四半期比増となりました。

医療用パップ剤用フィルム加工は、前年同四半期比で若干の減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は3,367百万円（前年同四半期比0.0%増）、営業利益は261百万円（前年同四半期比27.2%増）となりました。

■その他

ファンシー商品は、主要顧客のコロナ禍での店舗休業による影響が大きく、前年同四半期比減となりました。

商品等運送では、売上は前年同四半期を若干下回りましたが、自社車輛の利用率が上がり、利益では前年同四半期比増となりました。

その結果、売上高は1,781百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業利益は59百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

通期の見通し

下半期も依然としてコロナ禍で当社グループを取り巻く経営環境は引き続き不透明な状況が予想されますが、今後緩やかに経済活動が回復することを前提に以下の数字を予定しております。

			連 結（対前年比）	
			百万円	%
売	上	高	35,000	(Δ14.4)
営	業	利	450	(Δ56.9)
経	常	利	700	(Δ39.3)
親会社株主に帰属する当期純利益			550	(Δ24.2)

財務諸表の概要（連結）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部

科 目	前 期 2020年3月31日現在	当第2四半期 2020年9月30日現在
流動資産	23,346	21,307
現金及び預金	3,536	3,137
受取手形及び売掛金	8,141	6,648
電子記録債権	3,943	3,619
たな卸資産	7,331	7,352
その他の流動資産	482	635
貸倒引当金	△87	△84
固定資産	29,406	29,404
有形固定資産	20,089	20,152
建物及び構築物	5,244	5,268
機械装置及び運搬具	3,674	3,577
土地	10,219	10,194
その他の有形固定資産	952	1,113
無形固定資産	115	105
投資その他の資産	9,202	9,147
投資有価証券	5,020	4,991
退職給付に係る資産	100	147
繰延税金資産	534	532
その他の投資	3,589	3,519
貸倒引当金	△41	△42
資産合計	52,752	50,711

負債の部

科 目	前 期 2020年3月31日現在	当第2四半期 2020年9月30日現在
流動負債	23,610	21,919
支払手形及び買掛金	7,656	6,341
短期借入金	13,714	13,625
未払法人税等	191	121
設備関係支払手形	447	474
その他の流動負債	1,602	1,358
固定負債	9,875	9,839
長期借入金	5,994	6,020
退職給付に係る負債	489	495
再評価に係る繰延税金負債	1,299	1,299
関係会社整理損失引当金	209	151
その他の固定負債	1,884	1,874
負債合計	33,485	31,758

純資産の部

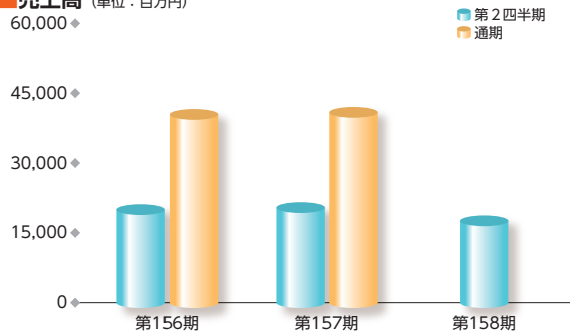
科 目	前 期 2020年3月31日現在	当第2四半期 2020年9月30日現在
株主資本	15,385	15,217
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	8,677	8,509
自己株式	△33	△33
その他の包括利益累計額	3,478	3,371
その他有価証券評価差額金	1,100	1,089
土地再評価差額金	2,799	2,799
為替換算調整勘定	△239	△346
退職給付に係る調整累計額	△182	△171
非支配株主持分	404	365
純資産合計	19,267	18,953
負債・純資産合計	52,752	50,711

四半期連結損益計算書

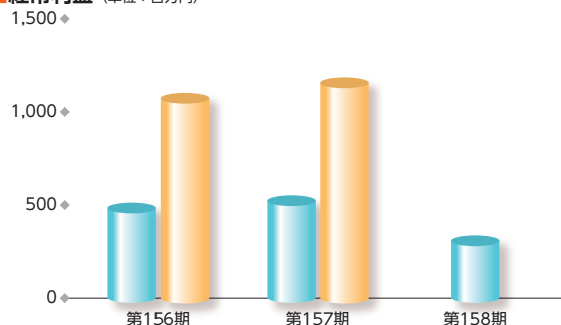
(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日
売上高	20,420	17,520
売上原価	16,684	14,319
売上総利益	3,736	3,201
販売費及び一般管理費	3,289	2,955
営業利益	447	246
営業外収益	275	275
営業外費用	199	215
経常利益	523	306
特別利益	0	118
特別損失	192	236
税金等調整前四半期純利益	331	188
法人税等	112	124
四半期純利益	219	64
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△12	△23
親会社株主に帰属する四半期純利益	231	87

売上高 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)

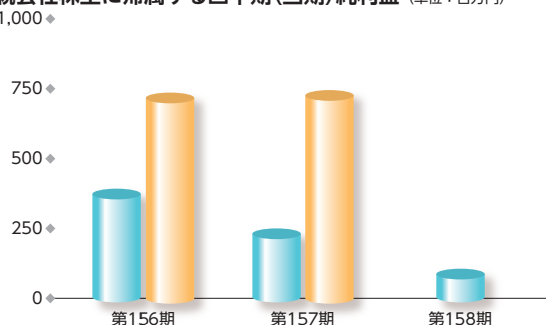


四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△585	740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△714	△760
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,558	△323
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△20
現金及び現金同等物の増減額	229	△363
現金及び現金同等物の期首残高	3,083	3,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,312	2,906

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



●シャープ（株）の加湿空気清浄機に当社製のフィルタ材が採用

当社製不織布フィルタを使用した加湿空気清浄機を販売するシャープ（株）が、空気浄化技術によって空気中に浮遊する新型コロナウイルスを減少させることを実証しました。当社の不織布フィルタ材は、多種多様な素材や薬剤を組み合わせ、設計から製品化、評価や検査までをしっかりとモニタリングするというシステムをとっており、国内外の家電メーカーから高く評価されています。



不織布フィルタ各種

●フェイスガードに当社製のフィルムが採用

土屋工業（株）が製造・販売する、フェイスシールド「プロテガットシリーズ」に当社製のフィルムが採用されました。飛沫が目立たないように特殊印刷を施したスモークタイプのフェイスシールド等に、透明PETフィルムと保護フィルムの貼合品が使用されています。新型コロナウイルスの感染予防策として売り上げを伸ばしています。



当社製フィルム使用の
「プロテガットシリーズ」

●ダイニック100年史を発刊

この度「ダイニック100年史」を当社創立記念日である2020年8月18日（火）に発刊致しました。本とケースの表紙素材に布クロス「バクラム」、見返しに紙クロス「モス」、トビラには紙クロス「ブラ」を使用し、ケースの赤色の芯材は特注含浸紙を使用しています。本文は100年史として新たに書き下ろしており、ダイニック100年の歩みが時代背景とともに詳しく描かれています。巻末には、事務所や工場の移転時期がわかる年表や、グループ会社の設立時期がわかる年表を掲載しています。



ダイニック100年史

●海外グループ会社、DYNIC SINGAPORE PTE.LTD.を設立

シンガポールに新たに販売拠点として海外グループ会社のDYNIC SINGAPORE PTE. LTD.を設立し、2020年10月1日（木）より操業を開始しました。同社はサーマルトランスファーリボンやケアラベルなどを中心にアセアン地域へ販売しています。



DYNIC SINGAPORE PTE. LTD.

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	
定時株主総会	3月31日
剰余金の配当	3月31日（中間配当を行なう場合は9月30日）
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店 舗）でもお取扱いいたします。
		みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱でき ませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行(※) およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行なっていただく必要があります。

上場証券取引所	東京
証券コード	3551

公告方法	当社のホームページ (http://www.dynic.co.jp) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
------	--



〒105-0004
東京都港区新橋 6-17-19（新御成門ビル）
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。